株式会社ビジネスブレイン太田昭和

[東証プライム市場　証券コード:9658]

ビジネスブレイン太田昭和

2027年3月期　第2四半期　決算説明

2026.11.13

目次

1. 会社紹介
2. 決算ハイライト
3. トピックス
4. 決算詳細説明

© Business Brain Showa-Ota Inc.

会社紹介

1

© Business Brain Showa-Ota Inc.

会社概要

社名	**株式会社ビジネスブレイン太田昭和**
英文名	**Business Brain Showa-Ota Inc.**
本社	東京都港区西新橋1-1-1 日比谷フォートタワー15階
事業拠点	東京、大阪、名古屋、浜松、福岡、札幌、新潟、熊本、鹿児島、那覇、名護、 タイ・バンコク、ベトナム・ホーチミン、シンガポール
代表者	代表取締役社長　小宮 一浩
創立	1967年８月
資本金	22億3,349万円
発行済株式数	34,845,600株
上場市場	東証プライム（証券コード：9658）
従業員数	単体／1,066名　　連結／2,495名*

（2026年３月末現在）
＊BBSグループ　連結子会社13社含む
BBSグループネットワークURL：https://www.bbs.co.jp/corporate/group/

© Business Brain Showa-Ota Inc.

ビジネスモデル

- バックオフィスの課題解決を目指して -

拡大するバックオフィス課題

人材採用難　社員の高齢化　業務のブラックボックス化
不正対策/内部統制強化　BCP対策　ワークスタイルの変化　etc…

BBS独自の統合コンサルティングサービス

３大ソリューションの一体提供で中堅企業をサポート



CONSULTING
業務プロセスの最適化

SYSTEM INTEGRATION
システム導入による自動化

MANAGEMENT SERVICE
BPOによる外部化

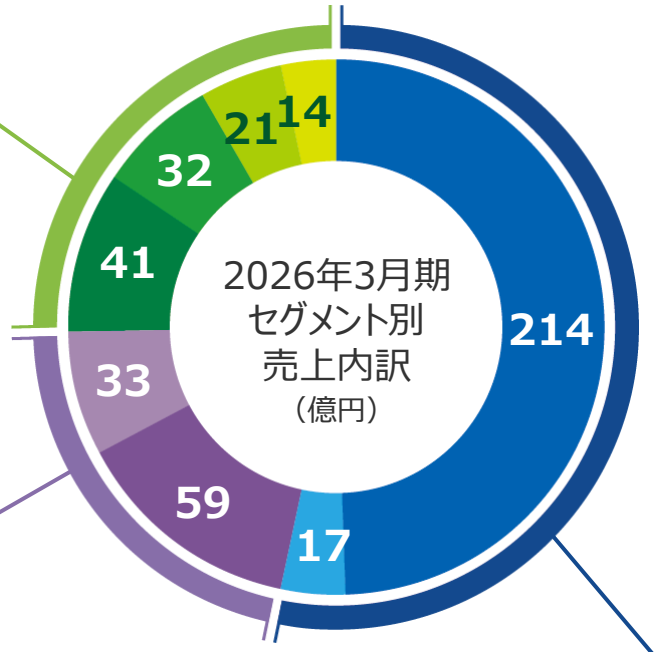
サイクルで提供することのメリット

- ✓ 特定のソリューションに拘らない
  最適なソリューションを選択し提案
- ✓ 後続工程を見据えた現実的な提案
- ✓ ソリューション間のシームレスな連携

© Business Brain Showa-Ota Inc.

事業内容

102 BPO＆マネージドサービス
- 41 人事給与BPO
- 32 経理BPO
- 21 オンサイトBPO
- 14 マネージドサービス



92 SES共創ビジネス
- 59 金融ビジネス
- 33 産業ビジネス

232 コンサルティング・システム開発
- 214 経営会計コンサルティング＆ソリューション
- 17 PLMソリューション

コンサルティング・システム開発

経営会計コンサルティング＆ソリューション
・経営会計および関連領域におけるコンサルティングとシステム開発・導入支援・保守
・スクラッチ開発とパッケージ導入があり、取り扱いソリューションは、
ACTシリーズ（自社ブランド）、Biz∫、mcframe、楽々Frameworkなど

PLMソリューション
・CADアドオン開発、BOM/PDM開発、保守
・自社製品PLMconsoleの販売、導入

SES共創ビジネス

金融ビジネス
・証券会社向け受託開発（準委任型）、SE派遣
・自社開発ファンドラップパッケージの販売、導入

産業ビジネス
・受託開発（準委任型）、SE派遣など

BPO＆マネージドサービス

人事給与BPO
・給与計算など人事関連のセンター型アウトソーシングサービス
・自社システム（Bulas、Win5）を活用した受託計算

経理BPO
・経理関連の業務コンサルティングおよび、センター型アウトソーシングサービス
・決算書類、連結作成など専門性の高い業務への対応

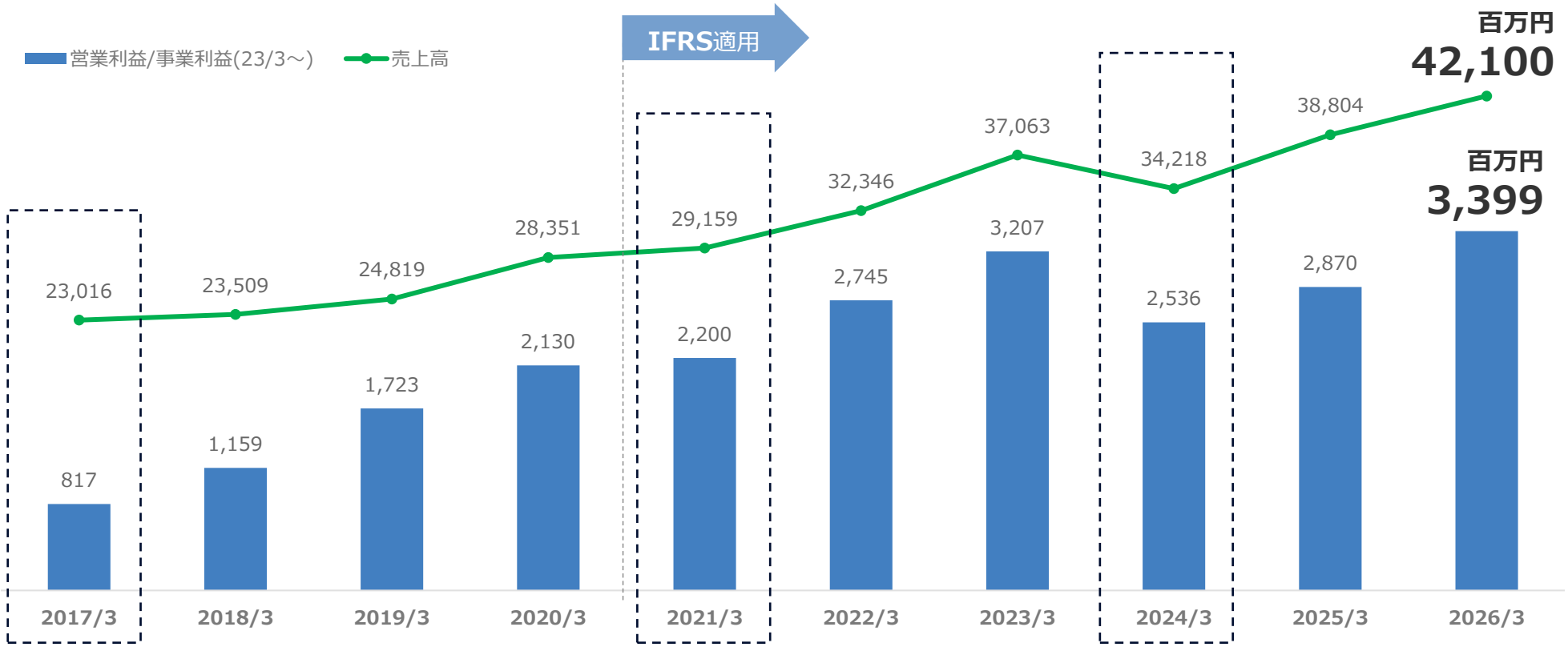
オンサイトBPO
・コールセンターオペレーター等の派遣、人材紹介、コールセンターの運用

マネージドサービス
・パッケージ製品ベンダー・提供業者向け、製品保守および業務アウトソーシングサービス

© Business Brain Showa-Ota Inc.

損益ハイライト

最近10年間の売上収益・営業/事業利益



※ BPO子会社買収に伴う PMI費用計上

※ コロナによる売上停滞 IFRS導入関連費用増加

※ GSX社、MICS社の連結除外により減少

売上高 10年CAGR 7.4%

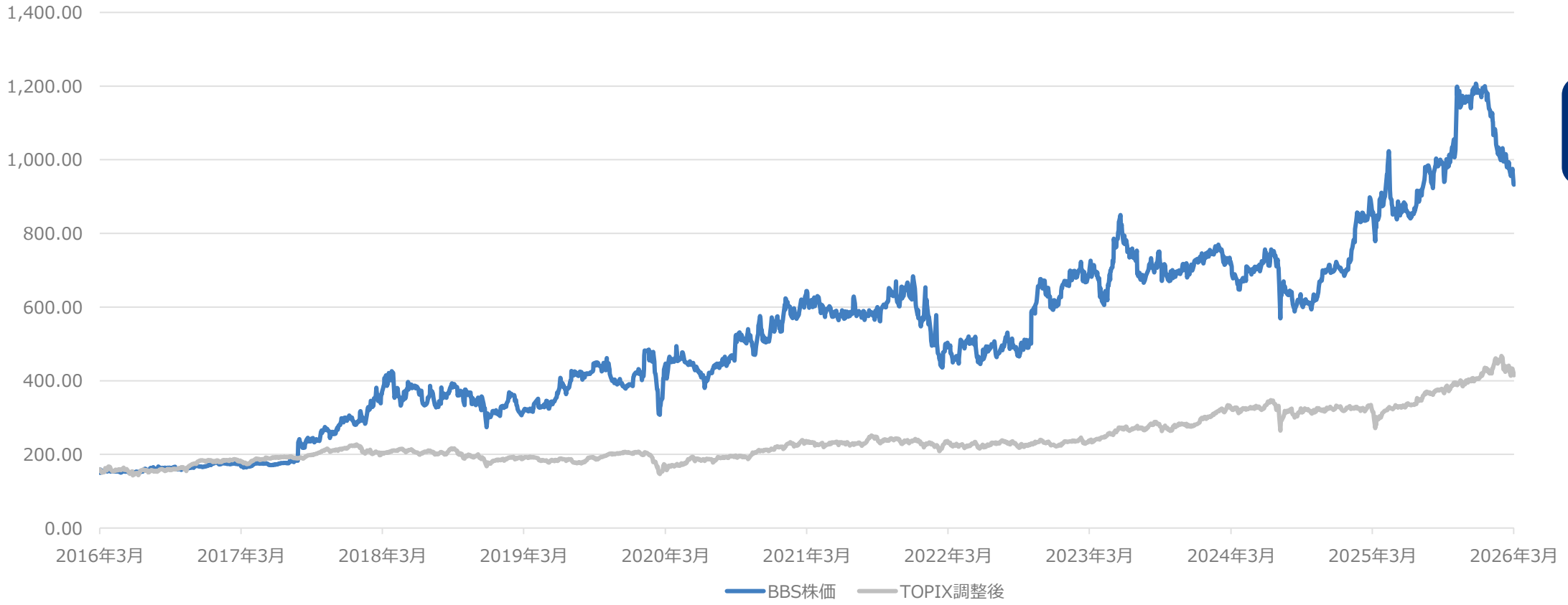
事業利益 10年CAGR 14.3%

© Business Brain Showa-Ota Inc.

株価推移

- 2016年4月～2026年3月の10年間で株価は5.8倍に
- TOPIXの2.6倍に対し、大きく成長

■ 最近10年間の株価



10年間で 5.8倍

© Business Brain Showa-Ota Inc.

2026年度 上期
決算ハイライト

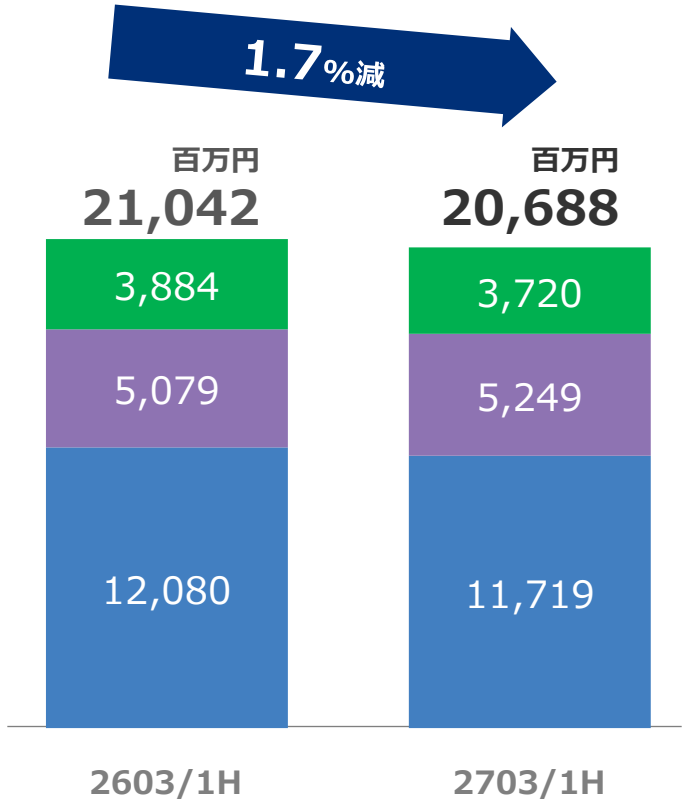
2

© Business Brain Showa-Ota Inc.

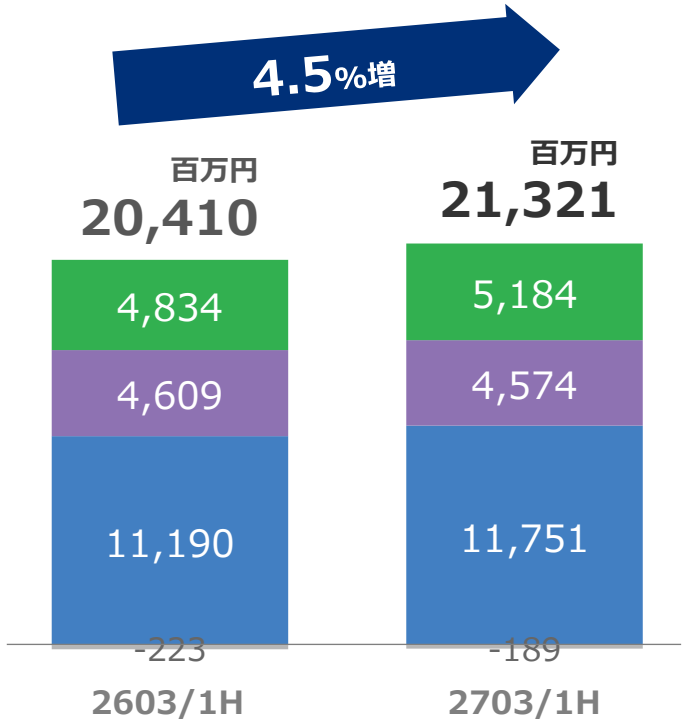
2026年度　上期ハイライト

- 受注高は、前上期に計上した大口案件の反動により、前期を若干下回る。売上はコンサルティング・システム開発が牽引し4.5%増
- 事業利益は、事業部門では増益も、研究開発投資等費用増で全体では19.5%減益（第1四半期の減益をリカバリー出来ず）

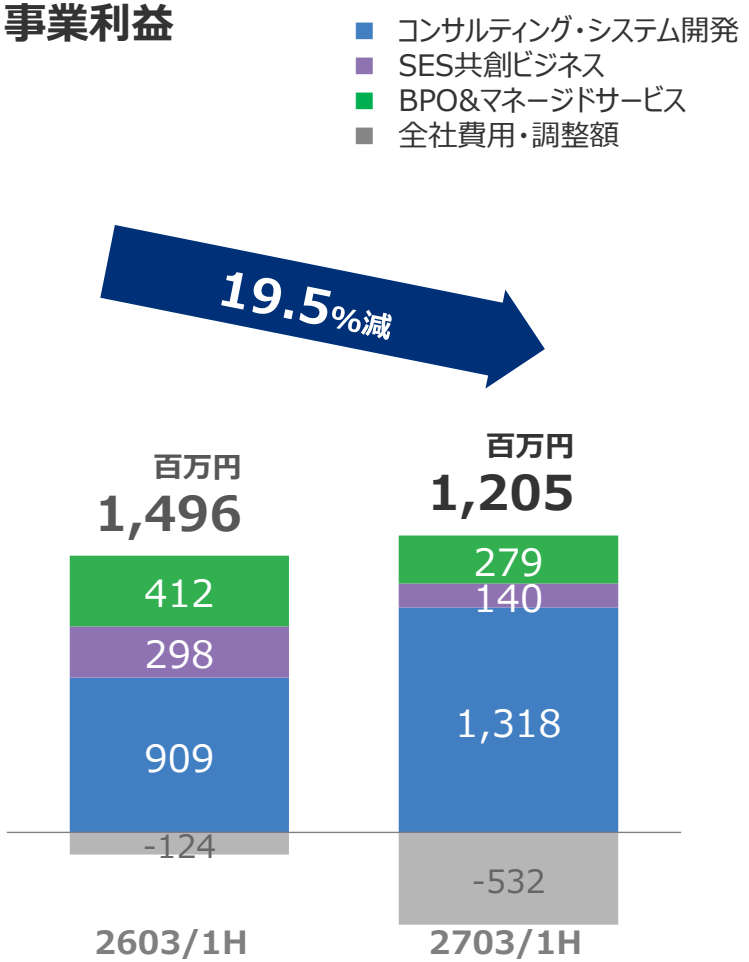
■ 受注高



■ 売上収益



■ 事業利益



© Business Brain Showa-Ota Inc.

2026年度　上期ハイライト　コメント

受注高

売上収益

コンサルティング・システム開発事業における受注減 361百万円/売上増 561百万円
- 前上期のインフラ関連の大口受注集中の反動により、当上期の受注は減少
- 新規・既存顧客ともにパッケージシステムの売上が伸長

SES共創ビジネス事業における受注増 170百万円/売上減 35百万円
- 前上期の受注減の反動による増加であり、受注環境に変化はない
- 産業ビジネスにおける前期末の退職者増加や不調プロジェクト対応による売上減少

BPO＆マネージドサービス事業における受注減 164百万円/売上増 350百万円
- 人事給与・経理BPOにおいて大型案件の獲得がなく、受注は低調に推移
- 前期受注の売上貢献により売上収益は増加

事業利益＊

コンサルティング・システム開発事業における増益 409百万円
- 当第2四半期の未アサイン解消の進展および売上増加により増益

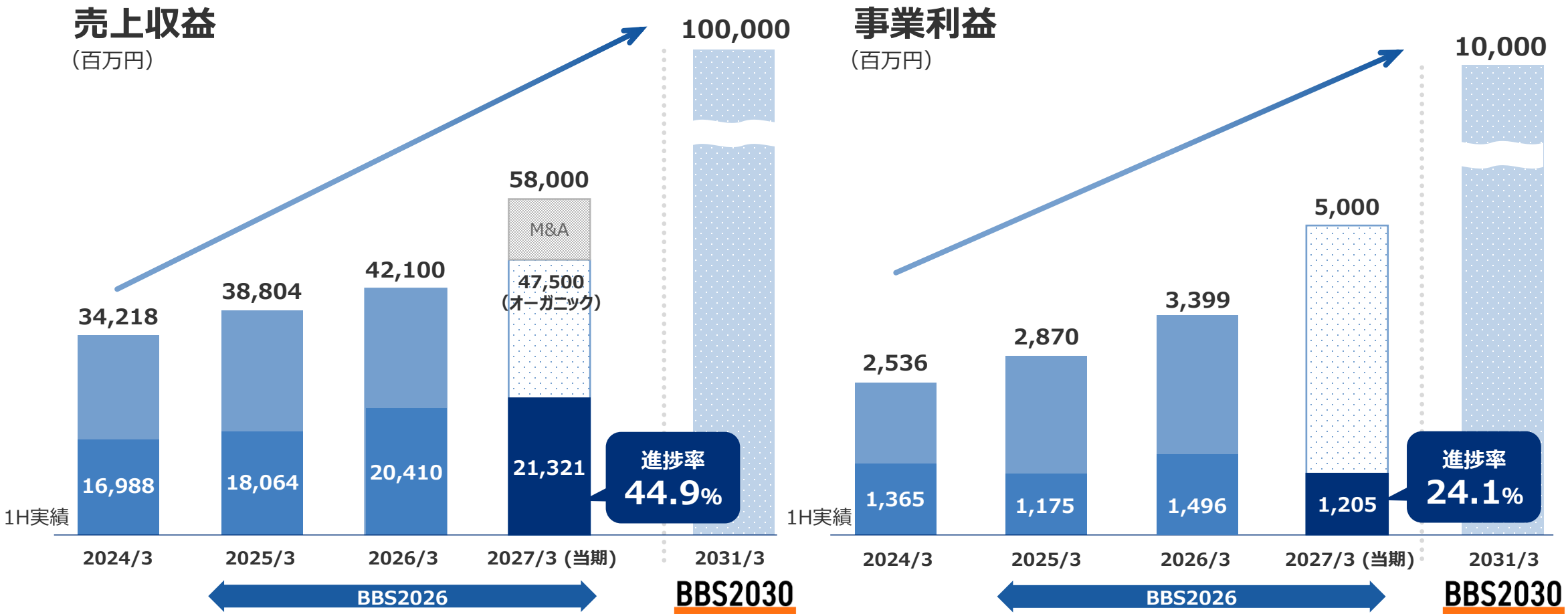
SES共創ビジネス事業における減益 158百万円
- 産業ビジネスの減収および不調プロジェクトの損失計上により減益

BPO＆マネージドサービス事業における減益 133百万円
- 経理BPOの立ち上げ遅延、浜松BPOセンターの移転費用（56百万円）計上が影響

＊ 事業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出しております。

© Business Brain Showa-Ota Inc.

BBS2026 業績進捗



2027年３月期は中期経営計画「BBS2026」の最終年度（3年目）に該当するが、
当初計画を修正し、研究開発への先行投資を行う。

© Business Brain Showa-Ota Inc.

BBS2026 KPI進捗

【成長】

中計目標

売上高成長率（M&A含む）

4.5*%（前年同期 13.0%）

（オーガニック売上高成長率 4.5%）

3年CAGR 20%

売上高事業利益率

5.7%（前年同期 7.3%）

2026年度までに 8.5%

BBSサイクル率

34%（前期末 35%）

2026年度までに 40%

【投資】

中計目標

M&A投資

4.9億円（累計4.9億円）

（対中計目標進捗 4%）

3年間合計 130億円

研究開発投資

2.8億円（累計5.8億円）

（対中計目標進捗 58%）

3年間合計 10億円以上

人的資本投資

2.4億円（累計10.9億円）

（投資額進捗 50%）

3年間合計 22億円以上

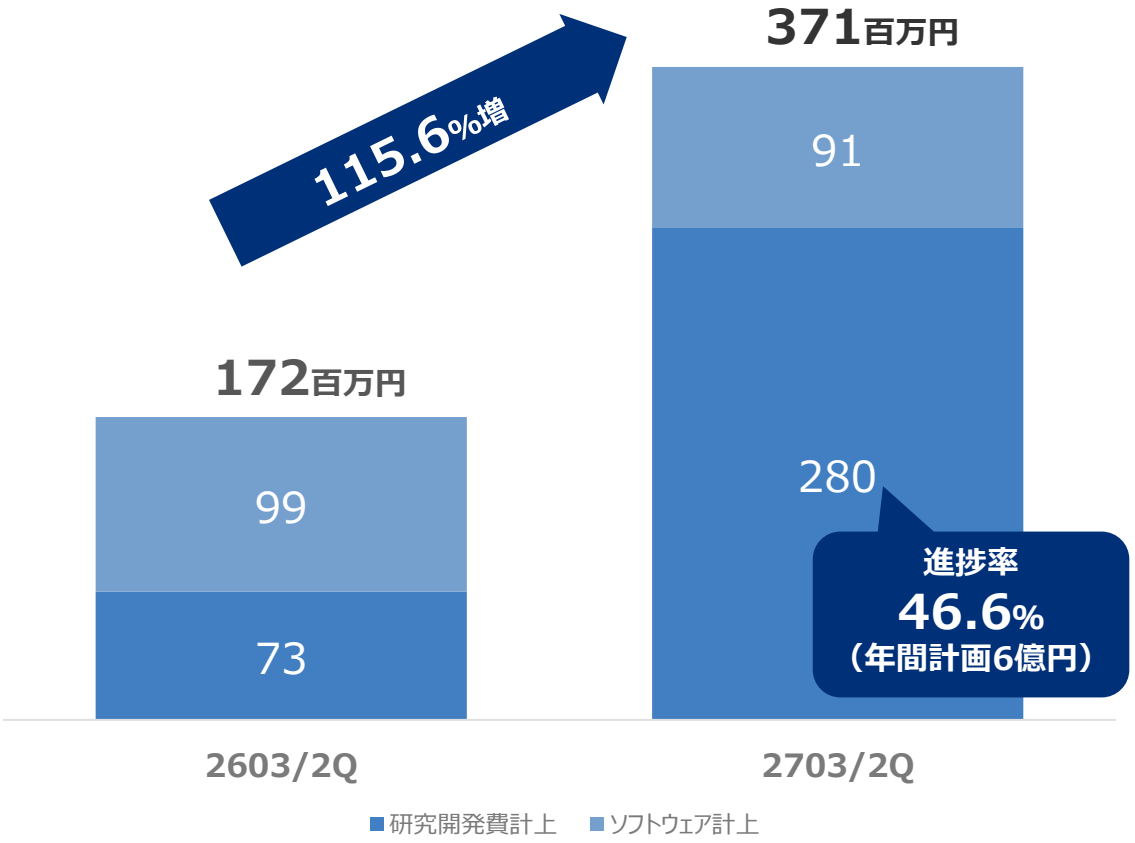
*：四半期では、対前年同四半期との比較で表示している

© Business Brain Showa-Ota Inc.

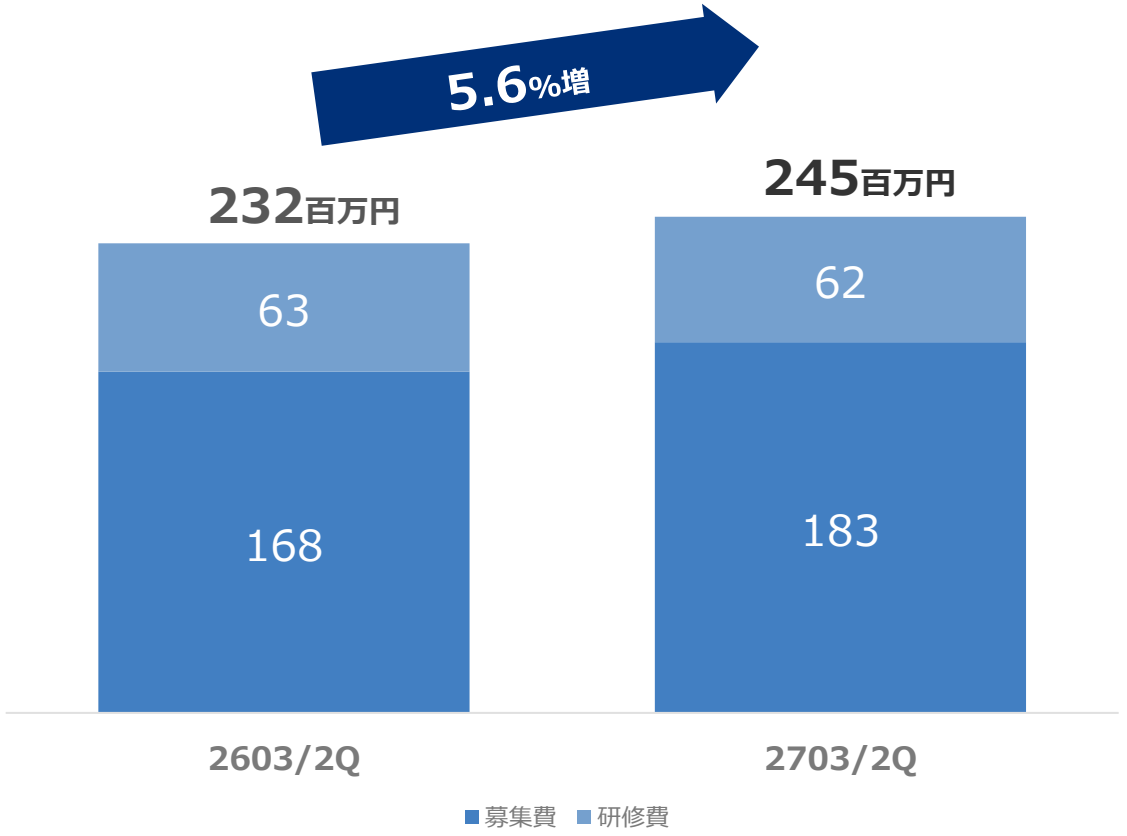
研究開発投資、人的資本投資

- 主な研究開発テーマ：【重点施策】AIの活用、BBS標準技法の刷新、ACT-Horizon関連開発
- 主な人的資本投資：積極的な人材採用により、エージェントに対する手数料等の増加

■ 研究開発投資



■ 人的資本投資



© Business Brain Showa-Ota Inc.

2026年度 第2四半期 トピックス

3

© Business Brain Showa-Ota Inc.

GSX株式の売却（2026年10月30日発表）

事業ポートフォリオの最適化を進め、売却資金は成長投資への活用を優先

01　経緯・BBSの考え

「Goal2030」に沿った事業ポートフォリオの最適化

GSXの独立性・機動性を重視し、持分比率を段階的に引下げ

中長期の企業価値・株主価値向上を踏まえ、全株売却を判断

02　取引概要・業績への影響

TOBに直接応募せず、成立後のGSXの自己株式取得に応じて全株売却

譲渡予定総額（参考値）	**350億円**
投資売却に伴う利益（見込）※2	**171億円**
当期純利益への影響（見込）※1.2	**＋223億円**

03　資金使途・株主還元

非連続な成長に向けた成長投資への活用を優先

資金需要・財務状況等を踏まえ、追加還元も検討

DOE 5%を目安とする配当を基本とし、具体策は決定次第公表

04　今後の関係・スケジュール

アクセンチュアとの今後の関係：同社とMOUを締結し、マーケティング施策等の協業に向けて協議を開始しました。なお、この協議は資本提携を伴うものではありません。

TOB：11月2日～12月15日（予定）

GSXの自己株式取得：2027年3月中（予定）

※1 当期純利益への影響には、2024年3月期のGSX株式の一部売却により、同社が連結子会社から持分法適用関連会社となった際に、保有株式の時価評価益に対して計上した繰延税金負債の取崩し（税金費用の減少）を含みます。このため、投資売却に伴う利益を上回ります。

※2 TOB成立・期内の株式譲渡が前提。取引完了後、GSXは持分法適用関連会社から除外予定。業績予想は影響が見通せる段階で修正予定。

© Business Brain Showa-Ota Inc.

株主優待制度の拡充

100株から対象に拡大し、9月末・3月末の年2回へ

投資魅力の向上と保有株主の拡大を目的に、QUOカードからデジタルギフトへ変更

変更後の優待内容

基準日	保有株数	継続保有条件	デジタルギフト
9月末	100株以上	期間の制限なし	**500円分**
3月末	100株以上（下記以外）	期間の制限なし	**500円分**
3月末	300株以上800株未満	1年超・持株数継続要件あり※	**3,000円分**
3月末	800株以上	1年超・持株数継続要件あり※	**9,000円分**

※ 同一株主番号で株主名簿に連続3回以上記載し、各基準日で必要株数を継続保有

適用開始：2026年9月末基準から。3月末の新制度は2027年3月末基準から適用

© Business Brain Showa-Ota Inc.

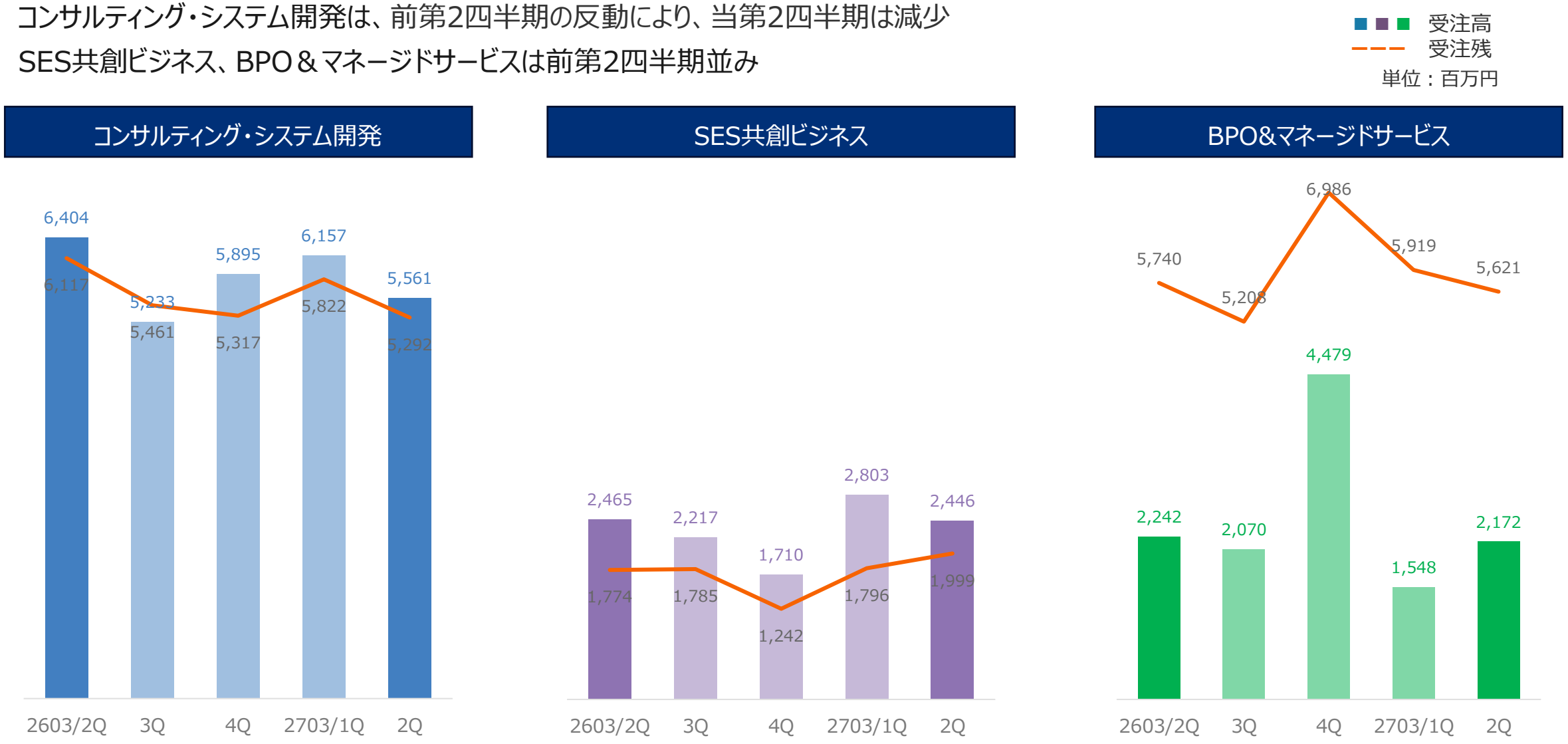
2026年度 第2四半期
決算詳細説明

4

© Business Brain Showa-Ota Inc.

受注高・受注残高　四半期推移（会計期間）

- コンサルティング・システム開発は、前第2四半期の反動により、当第2四半期は減少
- SES共創ビジネス、BPO＆マネージドサービスは前第2四半期並み



© Business Brain Showa-Ota Inc.

受注高・受注残高

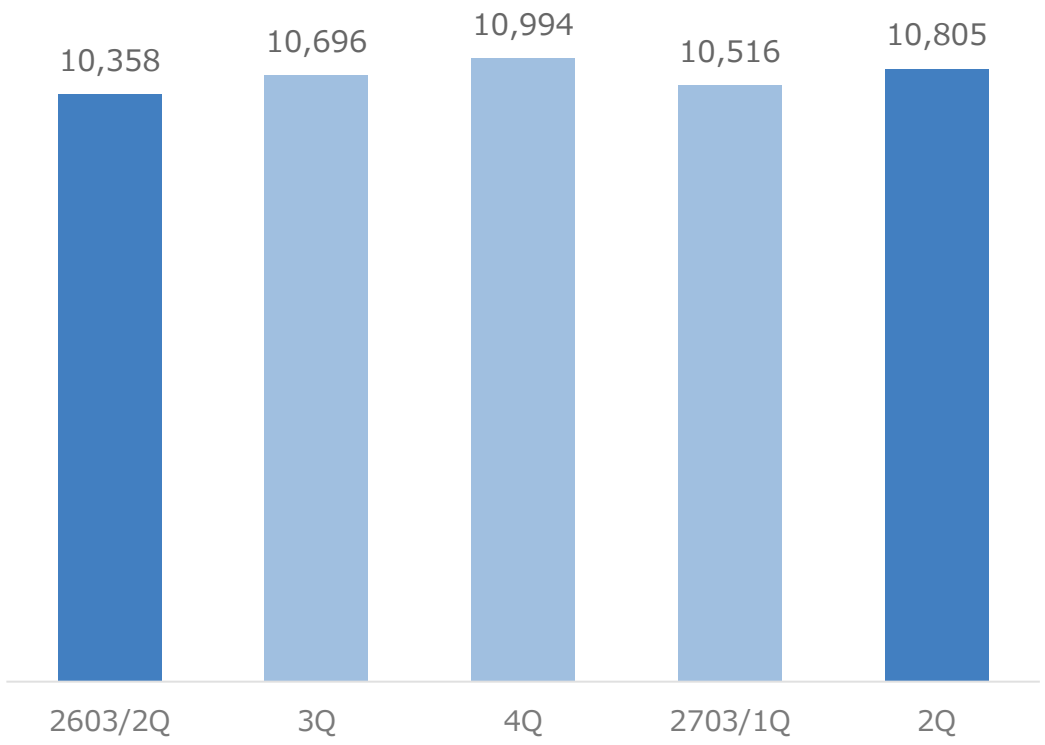
セグメント	受注の傾向	前年同四半期比較コメント
■ コンサルティング・システム開発	• 顧客の予算確定をもって発注されるケースが多いため、従来は第4四半期がピークとなっていたが、比較的大型の案件の割合が増加してきたことや当社側の対応力（生産能力）の問題もあり、第2、第3四半期に分散する傾向となっている	• 第1四半期に受注が増加した反動により減少。6か月累計では3%の減少にとどまり、影響は限定的 • 前期からの複数の大型プロジェクトが当年度末に完工する見通しであることから、大型の開発案件の受注が減少 • 来期以降の案件獲得に向けた受注活動に注力
■ SES共創ビジネス	• 基本的に１～数か月程度の受注が多く、年間を通して安定的な受注を獲得するビジネスである	• ネット証券市場における競争激化や新たな規制対応需要の限定的な動きにより案件が縮小傾向にある中、既存顧客への提案強化および価格交渉を進めた結果、前第2四半期並みを確保 • 受注環境は第1四半期から変化なし
■ BPO&マネージドサービス	• 1年単位の契約が多く、3月更新による受注が第4四半期に集中する。また、大口の受注は複数年契約になることが多いため、当該受注があった期に受注が急増することがある。したがって、四半期毎の受注高は安定しない	• 主力の人事給与・経理BPOにおいて大型案件の獲得がなく低調に推移した一方、オンサイトBPOおよびマネージドサービスにおいて既存顧客からの受注が拡大 • 大型案件の獲得に至っていない状況は第1四半期から継続

© Business Brain Showa-Ota Inc.

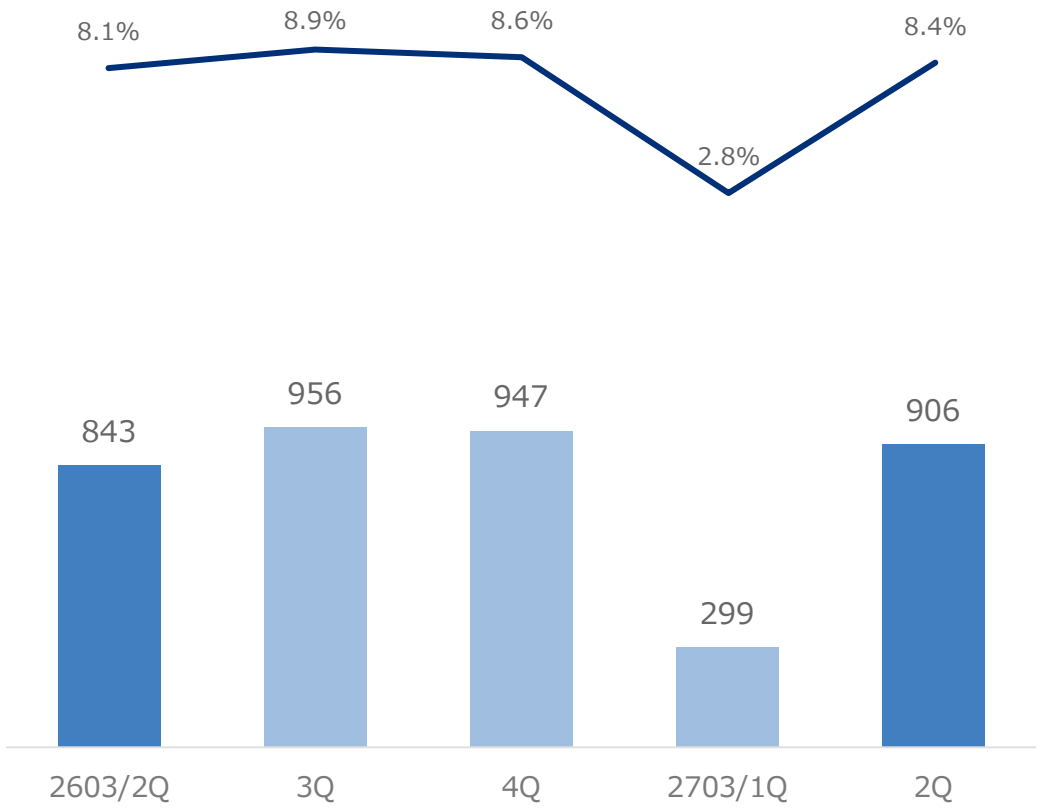
売上収益･事業利益　四半期推移（会計期間）

売上収益は順調に伸長、事業利益は研究開発の重点投資を吸収して前第2四半期並みを確保

売上収益（単位:百万円）



事業利益（単位:百万円）・利益率

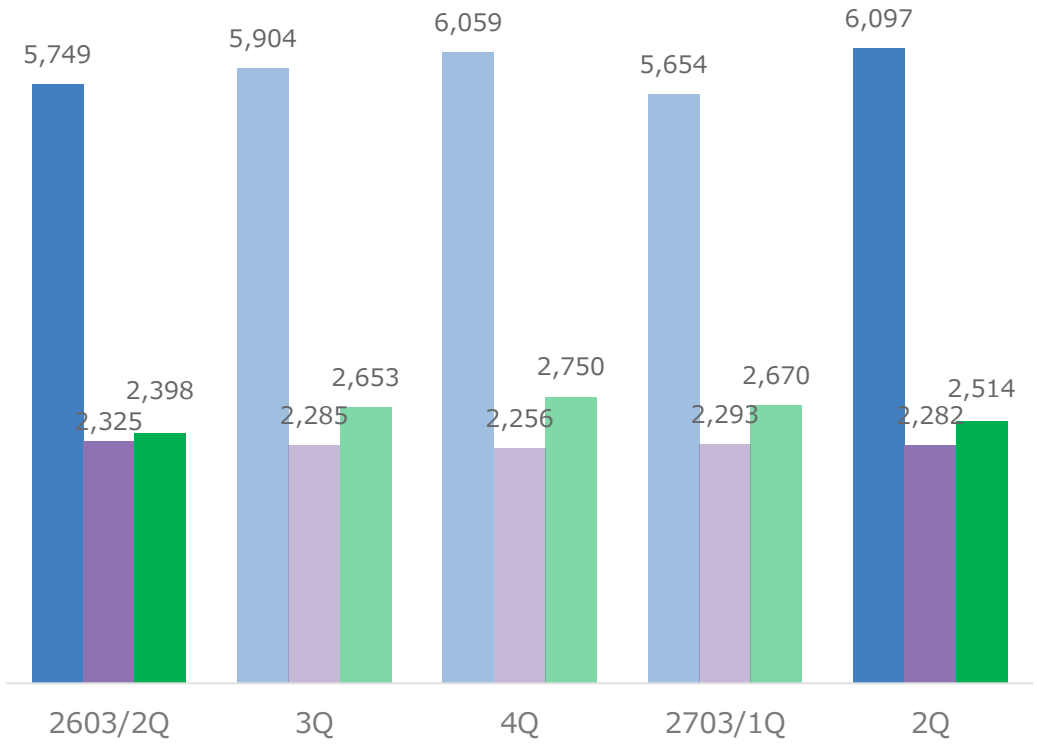


© Business Brain Showa-Ota Inc.

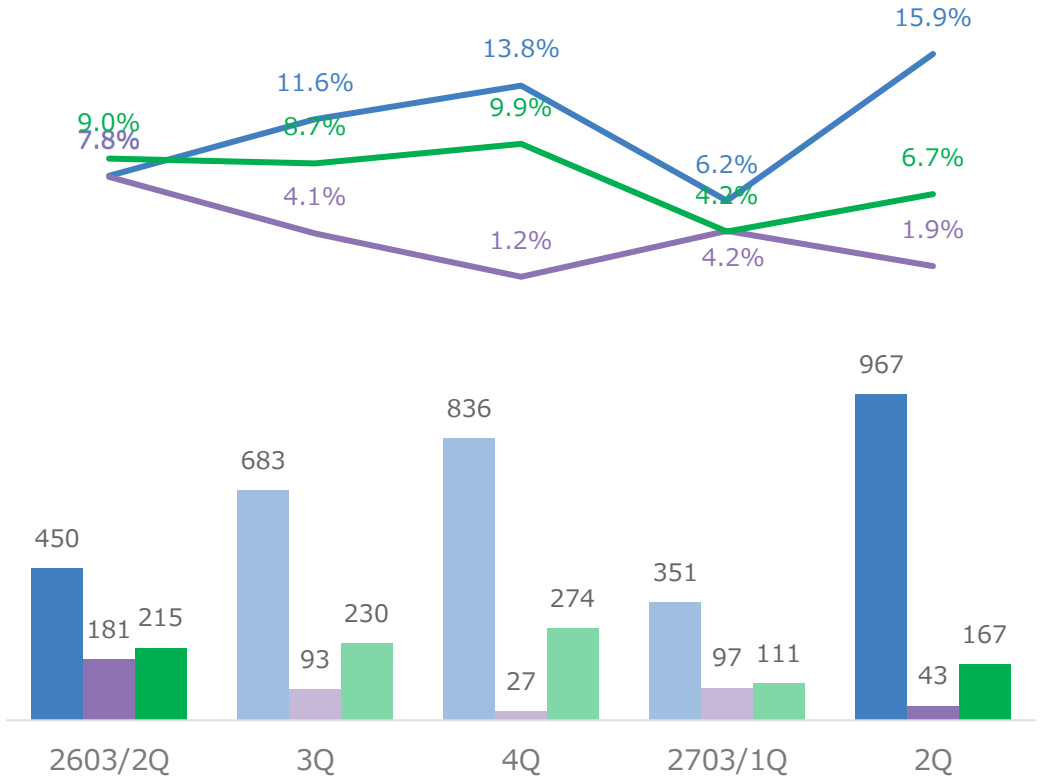
セグメント売上高・利益　四半期推移（会計期間）

■ コンサルティング・システム開発
■ SES共創ビジネス
■ BPO&マネージドサービス

セグメント売上高（単位:百万円）



セグメント利益（単位:百万円）

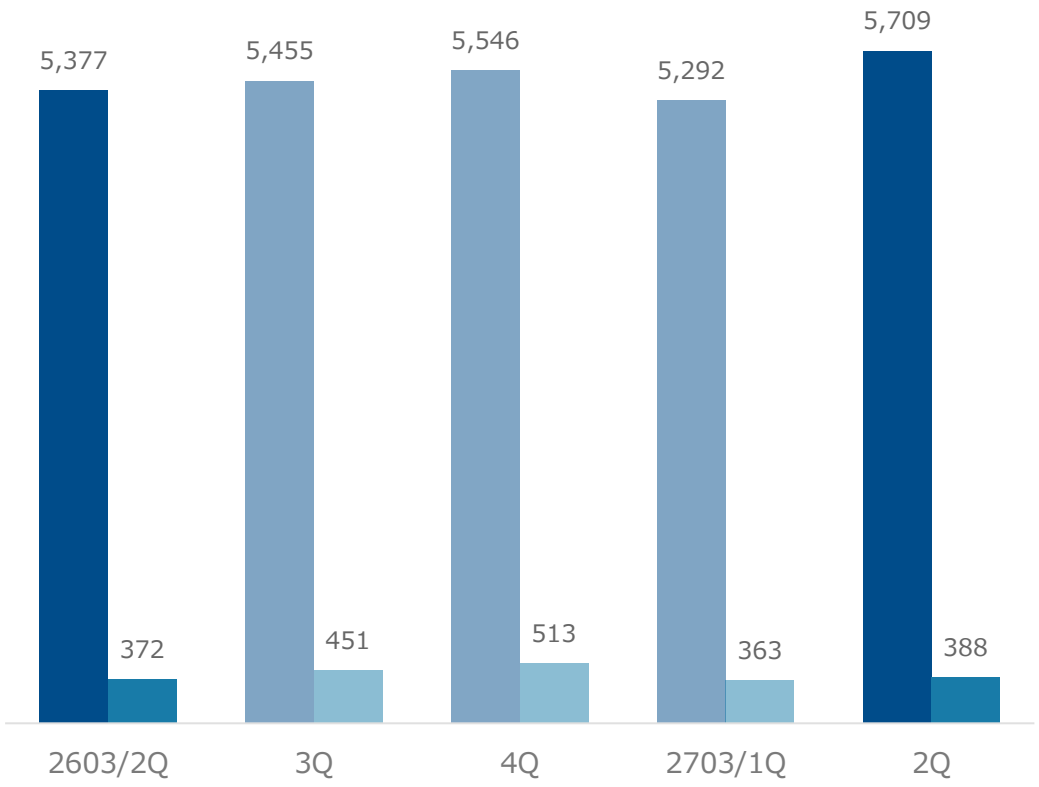


© Business Brain Showa-Ota Inc.

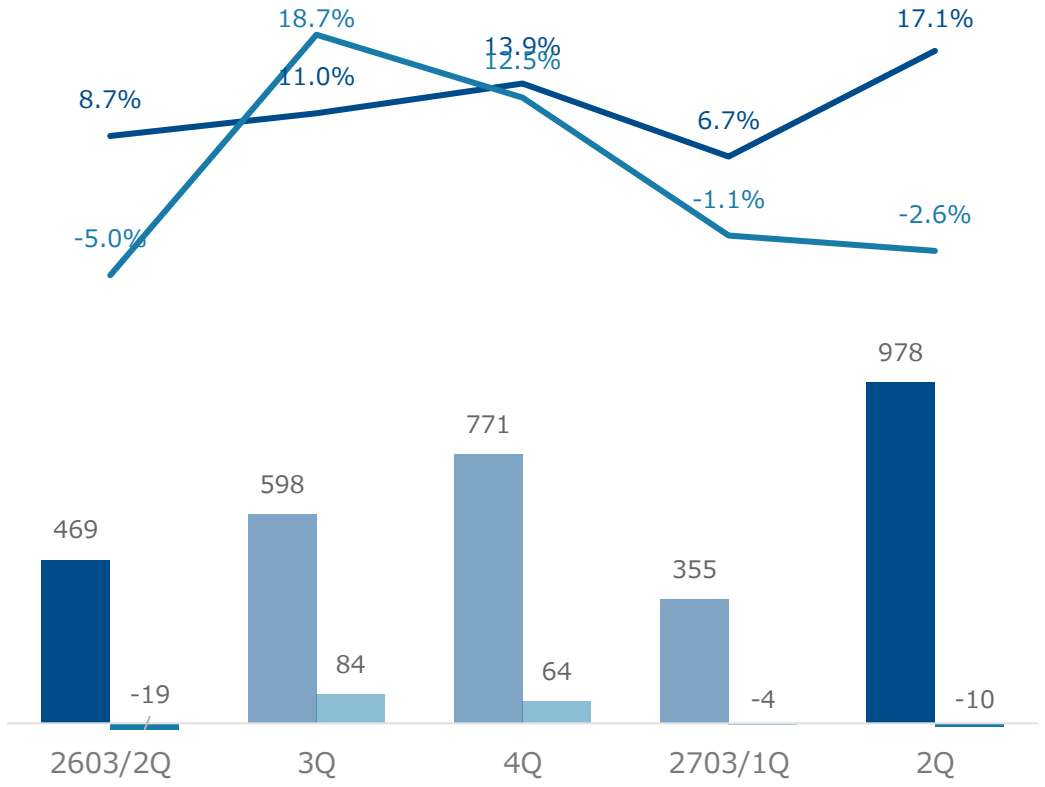
コンサルティング・システム開発　四半期推移（会計期間）

■ 経営会計コンサルティング＆ソリューション
■ PLMソリューション

セグメント売上高（単位:百万円）



セグメント利益（単位:百万円）



© Business Brain Showa-Ota Inc.

コンサルティング・システム開発　概況

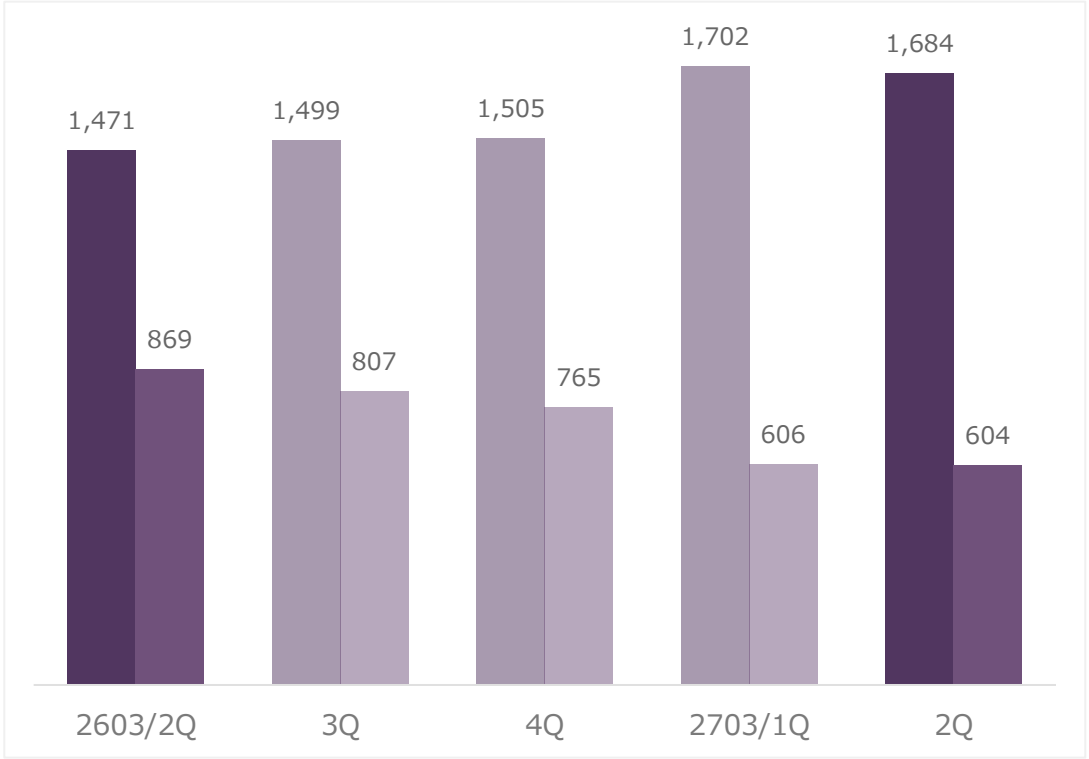
サブセグメント	前年同四半期比較コメント
■ 経営会計コンサルティング＆ソリューション	• 売上収益は、インフラ関連を中心とした既存顧客向け案件が堅調に推移したことにより、前年同四半期比で増収となった。 • 利益は、増収に加え、第1四半期に生じていた未アサイン（稼働していない人員）が解消されたこと、並びに採算が悪化する新たなプロジェクトが発生せず安定的に推移したことにより利益率が改善し、前年同四半期比で大幅な増益となった。 • なお、新たに取得したシステムワンの売上収益59百万円、利益▲2百万円が含まれている。
■ PLMソリューション	• 売上収益は、前年同四半期比で微増となったものの、損益分岐点を下回る水準にとどまり、営業損失を計上した。 • 顧客の発注決定までに要する期間が長期化する傾向にあること（POCの実施等）を踏まえ、リード件数の増加等の施策を実施している。 • 営業損失は、売上水準に加え、内部体制の強化に向けた先行投資の影響により、一時的に計上したものである。

© Business Brain Showa-Ota Inc.

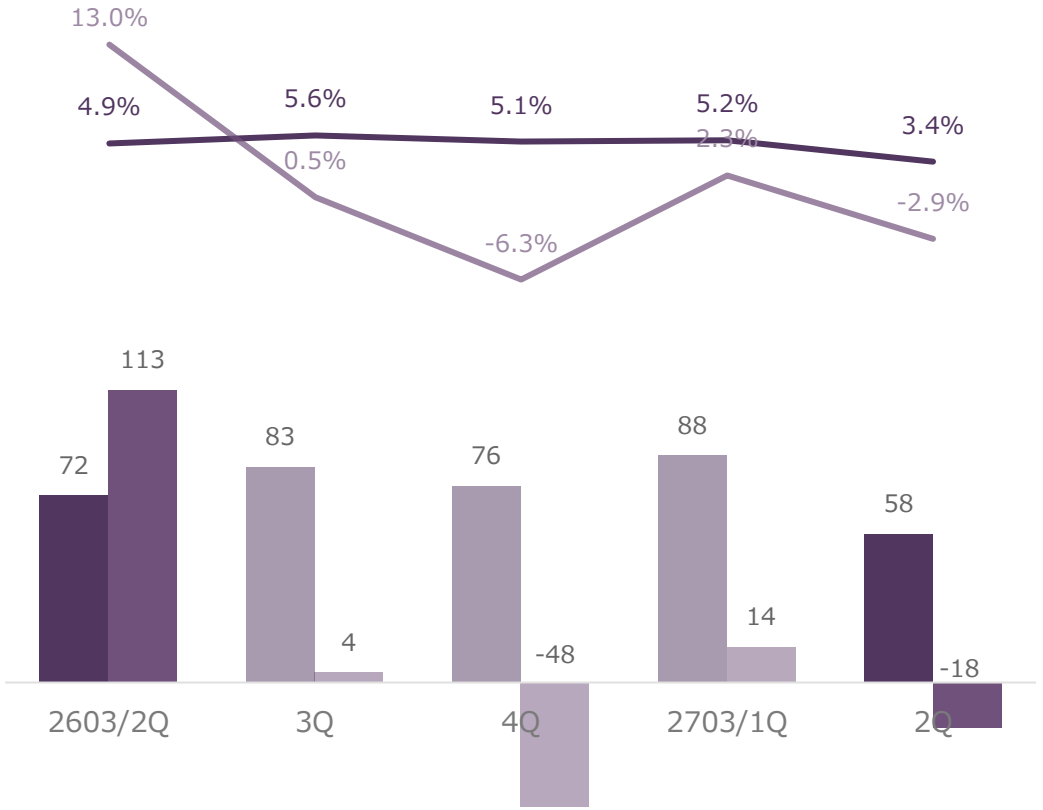
SES共創ビジネス　四半期推移（会計期間）

■ 金融ビジネス
■ 産業ビジネス

セグメント売上高（単位:百万円）



セグメント利益（単位:百万円）



© Business Brain Showa-Ota Inc.

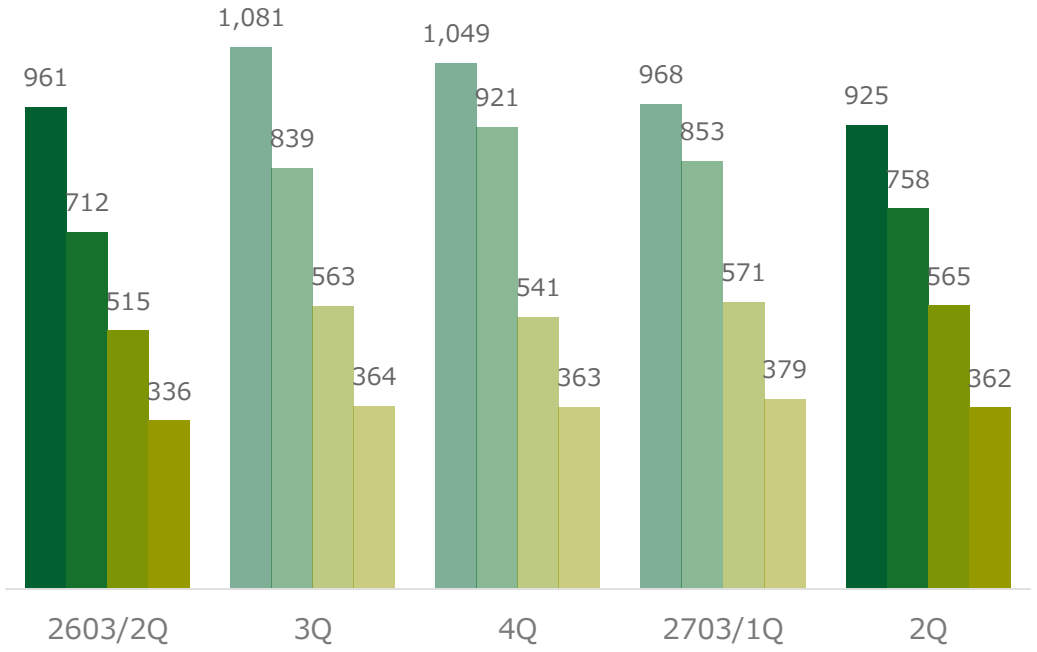
SES共創ビジネス　概況

サブセグメント	前年同四半期比較コメント
■ 金融ビジネス	• 当サブセグメントに属する子会社ファイナンシャルブレインシステムズが、産業ビジネスで集計していた子会社ジョイワークスを7月に吸収合併したことに伴い、第1四半期に遡って、ジョイワークスの売上及び利益を当サブセグメントに集計している。第1四半期のジョイワークスの売上は159百万円、利益は▲9百万円である。 • 上記の影響及びIFRS上の調整に伴う損益を除く従来相当の当サブセグメントの売上は54百万円の増加、利益は10百万円の増加である。 • 売上収益は、ネット証券をはじめとする既存顧客向け案件の拡大に加え、価格交渉の強化が奏功したことにより、増収となった。 • 利益は、上記施策の効果により、改善した。
■ 産業ビジネス	• 上記ジョイワークスの影響を除く従来相当の当サブセグメントの売上は106百万円の減少、利益は130百万円の減少である。 • 利益の減少130百万円のうち47百万円は、前年同四半期に一時的な利益を計上したことによるものであり、実質的な減少額は87百万円である。主な要因は、減収に加え、未アサインの発生により稼働率が低下したこと、コールセンターにおける採算が悪化したプロジェクトに係る損失等（37百万円）である。

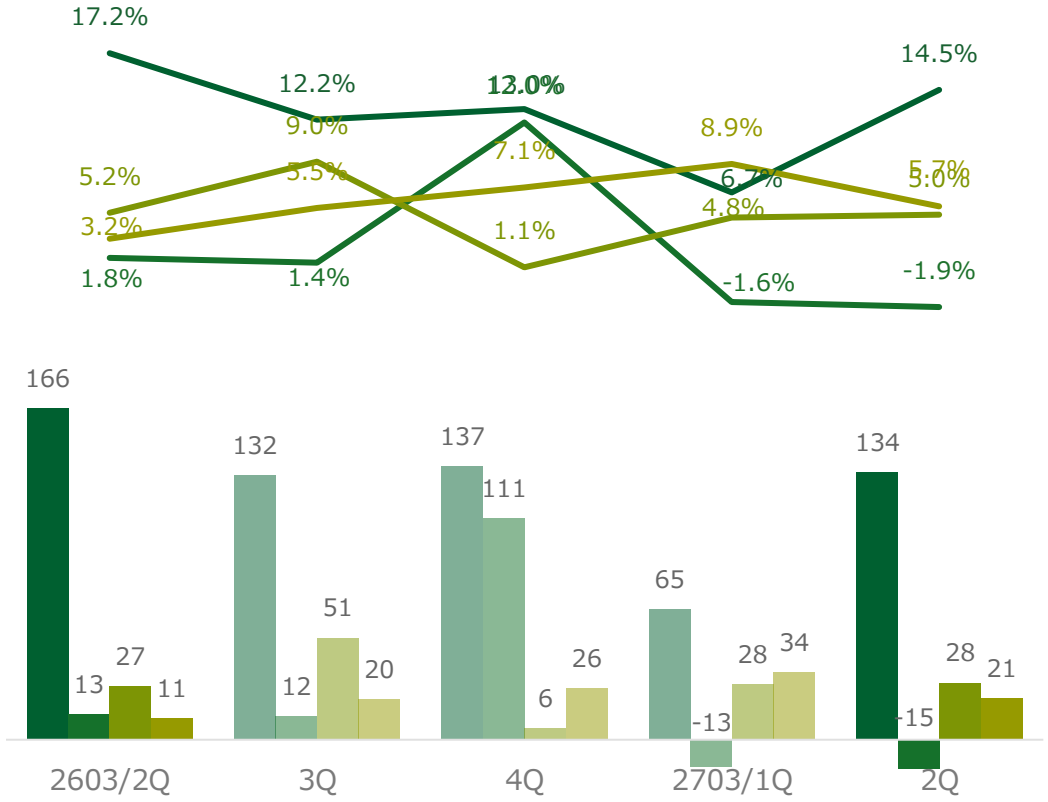
© Business Brain Showa-Ota Inc.

BPO&マネージドサービス　四半期推移（会計期間）

セグメント売上高（単位:百万円）



セグメント利益（単位:百万円）



© Business Brain Showa-Ota Inc.

BPO&マネージドサービス　概況

サブセグメント	前年同四半期比較コメント
■ 人事給与BPO	• 売上収益は、一部案件の解約があったものの、概ね前年同四半期並みで推移した。 • 利益は、解約の影響に加え、採用費用の増加及び浜松BPOセンター移転に伴う費用23百万円（賃料の二重負担等）を計上したことにより、減益となった。
■ 経理BPO	• 売上収益は、概ね前年同四半期並みで推移した。 • 一方、プロジェクトの立ち上げが計画より遅れたことから、第1四半期に引き続き営業損失を計上している。トラブルは解消し、プロジェクトは安定化しているが、当初の見積りより多くの工数を要している。下期には工数が正常化する見込みである。
■ オンサイトBPO	• 売上収益は、顧客要請によるコールセンター要員の増加に伴い、拡大した。 • 利益は、増収及び稼働拡大に伴う利益率の改善により、増益となった。
■ マネージドサービス	• 売上収益は、株式会社NTTデータとの業務提携により、拡大した。 • 利益は、増収及び生産性向上に伴う利益率の改善により、増益となった。

© Business Brain Showa-Ota Inc.

Appendix

Strictly Confidential

四半期セグメント売上/Quarterly Segment Revenue

（単位:百万円）	（unit: million yen）	2026/3				2027/3			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
コンサルティング・システム開発	**Consulting and System Development**								
経営会計コンサルティング＆ソリューション	Management Accounting Consulting & Solutions	5,031	5,377	5,455	5,546	5,292	5,709	0	0
PLMソリューション	PLM Solutions	409	372	451	513	363	388	0	0
調整	Adjustments	0	0	-1	-0	-2	0	0	0
セグメント計	Segment Total	5,441	5,749	5,904	6,059	5,654	6,097	0	0
SES共創ビジネス	**SES Co-Creation Business**								
金融ビジネス	Financial Business	1,484	1,471	1,499	1,505	1,702	1,684	0	0
産業ビジネス	Industrial Business	821	869	807	765	606	604	0	0
調整	Adjustments	-22	-15	-21	-14	-16	-6	0	0
セグメント計	Segment Total	2,283	2,325	2,285	2,256	2,293	2,282	0	0
BPO&マネージドサービス	**BPO & Managed Services**								
人事給与BPO	HR & Payroll BPO	979	961	1,081	1,049	968	925	0	0
経理BPO	Accounting BPO	749	712	839	921	853	758	0	0
オンサイトBPO	Onsite BPO	506	515	563	541	571	565	0	0
マネージドサービス	Managed Services	356	336	364	363	379	362	0	0
調整	Adjustments	-154	-126	-194	-124	-101	-96	0	0
セグメント計	Segment Total	2,436	2,398	2,653	2,750	2,670	2,514	0	0
合計	**Total**	**10,160**	**10,473**	**10,842**	**11,065**	**10,617**	**10,893**	**0**	**0**
本社/調整額	Company-wide expenses and Adjustments	-108	-115	-146	-71	-101	-89	0	0
連結	**Consolidated**	**10,052**	**10,358**	**10,696**	**10,994**	**10,516**	**10,805**	**0**	**0**

- 2026/3 2Qにおいて、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2026/ 3 1Qに係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。
- 2027/3 2Qにおいて、産業ビジネスに集計していた子会社ジョイワークスを金融ビジネスのファイナンシャルブレインシステムズに吸収合併しました。これに伴い、 2027/3 1Qに遡ってジョイワークスの金額を金融ビジネスに組換え再集計しております。

© Business Brain Showa-Ota Inc.

四半期セグメント事業利益/ Quarterly Segment Business Profit

（単位:百万円）	（unit: million yen）	2026/3				2027/3			
		1Q*	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
コンサルティング・システム開発	**Consulting and System Development**								
経営会計コンサルティング＆ソリューション	Management Accounting Consulting & Solutions	430	469	598	771	355	978	0	0
PLMソリューション	PLM Solutions	29	-19	84	64	-4	-10	0	0
調整	Adjustments	0	0	0	0	0	0	0	0
セグメント計	Segment Total	459	450	683	836	351	967	0	0
SES共創ビジネス	**SES Co-Creation Business**								
金融ビジネス	Financial Business	76	72	83	76	88	58	0	0
産業ビジネス	Industrial Business	44	113	4	-48	14	-18	0	0
調整	Adjustments	-3	-5	5	-1	-5	3	0	0
セグメント計	Segment Total	117	181	93	27	97	43	0	0
BPO&マネージドサービス	**BPO & Managed Services**								
人事給与BPO	HR & Payroll BPO	142	166	132	137	65	134	0	0
経理BPO	Accounting BPO	22	13	12	111	-13	-15	0	0
オンサイトBPO	Onsite BPO	16	27	51	6	28	28	0	0
マネージドサービス	Managed Services	16	11	20	26	34	21	0	0
調整	Adjustments	0	-1	15	-5	-2	-1	0	0
セグメント計	Segment Total	197	215	230	274	111	167	0	0
合計	**Total**	**773**	**847**	**1,005**	**1,136**	**559**	**1,178**	**0**	**0**
本社/調整額	Company-wide expenses and Adjustments	-121	-3	-49	-189	-260	-272	0	0
連結	**Consolidated**	**653**	**843**	**956**	**947**	**299**	**906**	**0**	**0**

- 2026/3 2Qにおいて、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2026/ 3 1Qに係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。
- 2027/3 2Qにおいて、産業ビジネスに集計していた子会社ジョイワークスを金融ビジネスのファイナンシャルブレインシステムズに吸収合併しました。これに伴い、 2027/3 1Qに遡ってジョイワークスの金額を金融ビジネスに組換え再集計しております。

© Business Brain Showa-Ota Inc.

BBSについて
BBSは、東京証券取引所プライム市場に上場しています。
1967年の創業以来、BBSは日本企業に寄り添い、お客様の「経営」と「会計」を支えています。

BBSでは『経営会計』に関する「コンサルティング」、「システムインテグレーション」、「マネージメントサービス(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)」を提供し、この３つのサービスの軸を「BBSサイクル」と定めています。お客様の戦略、計画策定から運用、定着までの様々なステージにおいて、「BBSサイクル」は効果的・継続的なご支援を可能にします。

私たちは会計領域を超えた経営会計の専門家として、お客様を支える『総合バックオフィスサポーター』です。

免責事項
本資料に含まれる将来予測・見通しは現時点の判断に基づくものであり、実際の結果とは異なる可能性があります。

Together for Value

BBS

株式会社ビジネスブレイン太田昭和

© Business Brain Showa-Ota Inc.